

令和 5 年 11 月 6 日
千駄谷小学校 校長

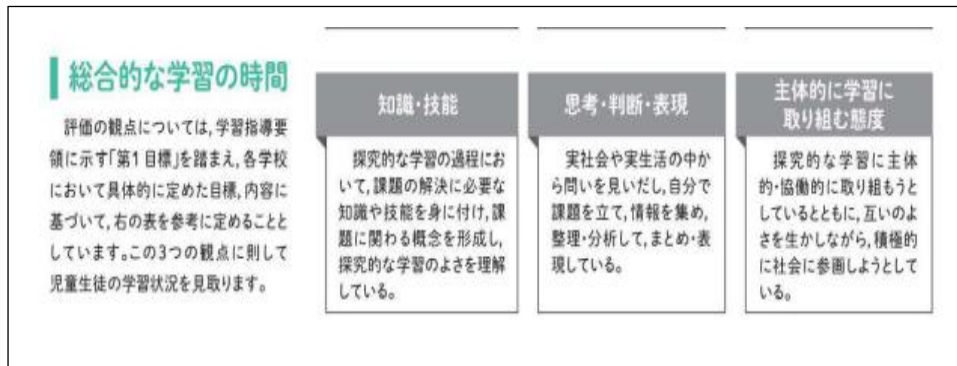
週案プラスNo.28

シブヤ未来科を通して何を育てる??

すでに皆さんもよくご存じのとおり、次年度から探究学習が正式にスタートします。それに向け、本校では、計画的に準備を進めているところです。いろいろな学校から「千駄谷はどう進めていますか?」ということをよく聞かれます。皆さんが計画的に進めてくださるので、私としても本校の取り組みをよどみなく伝えることができていると思います。

さて、探究学習の根幹は、シブヤ未来科であり、いわゆる総合的な学習の時間です。前期の通知表で先生方の総合的な学習の時間の所見を拝見しました。その記述については、いうまでもなく、総合的な学習の時間で児童に身に付けさせたい資質・能力に即して、所見作成（評価）を行っていくことが基本となります。

以下は総合的な学習の時間の評価の観点になります。



3 観点が上のとおりでこれに沿って評価する。評価するということは、この観点が総合的な学習の時間で児童に身に付けさせたい内容ということになります。

簡単に言うと

(1) 知識・技能の観点では

- ① 概念的な知識の獲得ができたか
- ② 自在に活用することができる技能の獲得があったか
- ③ 探究的な学習のよさを理解できたか この3つ

(2) 思考・判断・表現の観点では

- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現

これらがどのようにどの程度達成できたかということ。例えば、

- ① 解決の方法や手順を考え見通しをもって計画を立てられたか
- ② でいうと、情報をどのように効率的・効果的に収集できたか
- ③ 情報の共通点や差異点を見つけ、関係や傾向を分析できたか
- ④ 相手や目的に応じて効果的な表現等で工夫できたか

個人的な意見ですが、私は、この(2)の観点が最も見やすいかなと感じています。

(3) 主体的に学習に取り組む態度の観点では

- ① 自己理解・他者理解
- ② 主体性・協働性
- ③ 将来展望・社会参画

- ① では、異なる意見、他者の意見を取り入れ、自分の考えを深められたか
- ② メンバーの良さを生かしながら、協力して問題解決に取り組めたか
- ③ 実社会の問題解決に自分事として取り組めたか

また、(3)に関しては、今回の学習指導要領の改訂で「粘り強さ」(主体性)や「学習の調整」(協働性)も重視されています。

今一度基本に立ち返り、シブヤ未来科で子供たちにどんな力を身に付けさせるのか考えてみてください。

なお、この下の参考文献、職員室で見つけました。私の着任前からある資料です。職員室にお宝が眠っていました!!

【参考文献】

- 1 令和元年 6 月 文部科学省 国立教育政策研究所
「学習評価の在り方ハンドブック(小・中学校編)」
- 2 令和 2 年 3 月 文部科学省 国立教育政策研究所
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校編)